

令和7年度 学校通信 第10号

令和8年2月17日



豊島区立巣鴨北中学校
校長 鎌田 智義

〒170-0001 豊島区西巣鴨 3-17-1
電話 3918-2144 FAX 5394-1009

北中だより

大切なことは目には見えない

上級学校への入試が本番を迎えています。少しずつ吉報が届き始めました。吉報を生徒から直接受けることが多くなった2月上旬です。

1月下旬から2月上旬まで、大きな行事が目白押しでした。

1年生は都電の旅を終えました。東京の中で、都電を学区域にもつ中学校はごく少なく地域の文化や歴史を都電に乗りながら学習を深めました。学校目標の「自主」を実現するために計画を立て実行しました。

2年生は蓼科へのスキー移動教室でした。スキー技術だけではなく、集団としての意識を高める機会となりました。学校目標の「連帯」を実現したといってもいいでしょう。大きな成長のあったスキー移動教室となりました。

3年生は卒業後の進路に向けて、3年間で培った力を発揮するべく自らの人生と向き合っています。「自律」とは学校目標のひとつですが、簡単ではありません。新しい扉を開くことができるよう応援し続けています。

西巣鴨小学校たけのこ学級と本校6組は、「まとめ展」で発表を行いました。たけのこ学級は、劇の発表です。音楽、セリフ、動きを一体としてストーリー構成を含め抜群のできでした。6組は合唱と和太鼓の発表です。れんが祭からさらに練習を積み、音を合わせ、ぶれることのない発表となりました。2つの発表は大きな拍手をいただきました。

生徒会の有志は、池袋駅西口広場で被災地募金活動をしています。豊島区の各中学校生徒会有志20名ほどが集まり5チームに分かれ行いました。「寒いけれどがんばってね。」と募金をしていただいた方からいただいたお言葉です。「被災地支援の募金をお願いいたします。」と各生徒の声は広場にこだましました。

これらの行事を行うにあたり、生徒だけではなく保護者の皆さま、教職員が関係しています。行事は多くの人々の願いや思いがあるからこそ、成立する営みです。教育員会の各部署も目には見えませんが、大きく関与しています。仕組みを整え、実施するための文書でありお金の流れが必要です。

サン＝テグジュペリ作「星の王子さま」は多くの人々が知っている物語です。著作権保護期間が終了し、たくさんの訳が出回るようになりました。サハラ砂漠に不時着した飛行士が星の王子さまと会話を重ねていきます。どの訳でも「大切なことは目には見えない。」と星の王子さまが話しをします。行事の裏には、多くの願いや思いがあること、多くの人々が関与していること。これらは、目には見えないことです。また、見ようとしても見ることができないことだとも言えます。また、すべてが見えたとしても見えていることにはならない、のです。感じるができるか、といった感覚的なことが関与してくるからです。

2月の教育を充実させることが3月へ、また令和8年度へつながります。2月を逃がさないという気持ちで取り組んでいきます。

【2年蓼科スキー移動教室】

1月28日（水）から30日（金）の3日間、2泊3日のスキー移動教室が行われました。



天気にも雪質にも恵まれ、スキーをするには最高のコンディションでした。宿泊したホテルも1月中旬にリニューアルオープンをしたばかりで、とてもきれいで料理も豪華でした。



スキー実習は、どの班もとても楽しそうに一生懸命練習していました。2泊3日という短い時間でかなり上達しました。初めてスキーをやった生徒たちは、ちょうど滑れるようになったころに帰らなければならないので、あと1日滑りたかったのではないかと思います。とても実りのあったスキー実習でした。

しかし、ルールを守れずにスマートフォンを持ってきた生徒がいたことは非常に残念でした。その中でも保護者が知って持って来ていた生徒もいたことに驚きました。来年度の修学旅行ではそのようなことがないように、ご家庭でもご協力をお願いいたします。

また、発熱してしまい途中で離脱しなければならない生徒が5人出しまい、保護者の方にはお迎えに来ていただき、大変助かりました。ご協力ありがとうございました。

今回の様々な経験が今後の学校生活に活かされるとよいですね。

【1年都電の旅】

スローガン “No trouble Let’s enjoy!” を掲げ、生徒たちにとって教員の引率なしで公共の交通機関を使用した初めての班行動が終了しました。午前、午後のどちらかで、班で選んだテーマ別のガイドツアーに参加しました。このツアーでは、ボランティアの方々ที่案内してくださり、身近な場所であるものの初めての発見が多々ありました。ガイドツアー以外では、班のテーマに基づいた見学地を数カ所選び、班員全員で協力しながら主体的に学習を進めることができました。しかし、守ることができなかったルールがありました。特に公共の場での過ごし方に課題があり、都電を利用されている一般の方からご連絡をいただいたことも事実です。

様々な成果と課題がありました。成果は皆で共有したたえ合いました。しかし、深く反省しなければならない点は、十分に反省し、そこに留まらず同じことの繰り返しにならないよう、どうしたらよいのかという貴重な課題をいただいた校外学習でした。必ず次につなげていきたいと思います。

